

アルゼンチンアリ国内侵入地からの分散による侵入と初期防除 ～橋を渡ったアルゼンチンアリ～

愛知県環境調査センター 企画情報部 山田 由貴



橋を渡ったアルゼンチンアリ



犬山市は、愛知県の最北端に位置しており、北は木曽川を境に岐阜県と隣接している。対岸に位置する岐阜県各務原市において、2007年3月にアルゼンチンアリの生息が確認され、2021年8月に愛知県犬山市で生息が確認された。



犬山橋:橋長223.15m, 幅員16mの鋼トラス橋



鉄道橋のアスファルト部分

全国でも珍しい鉄道と道路の併用橋として利用されていた歴史がある。鉄道橋の床版の路肩には道路のアスファルトが残っており、隙間に植物が生えることで、想定外にアルゼンチンアリの分散に利用されてしまった。



犬山城(国宝)



餌・営巣環境となるアカメガシラ

犬山橋223.15メートル

アルゼンチンアリの自力歩行による分布拡大速度は、山口県で70～180m/年、愛知県田原市で50～150m/年、愛知県東海市で430m/6ヶ月という記録がある。



愛知県犬山市側

橋からアルゼンチンアリが侵入する場所



気温
湿度

+

餌

+

営巣
環境

=

生息
可能



岐阜県各務原市側

侵入から初期防除、そして監視へ

侵入

- 現場確認(種の同定)
- 関係主体の連携構築
- 情報共有

調査

- 生息範囲把握
- 防除範囲検討
- スコーピング

防除

- 緊急防除
- 経過観察
- 追加防除

監視

- モニタリング
- 即時駆除
- 情報収集

👍 定着前の排除に成功

👍 4年間、定着を阻止している

👍 11ヶ月間、検出ゼロを継続中

2021年8月

- 県及び市で調査及び緊急防除を実施
- 12月には専門家によるリモート調査で分布を把握し、防除範囲を検討

2022年度

- 県が概ね月1度の頻度でアリ類の生息状況調査を開始
- 再侵入を早期発見する体制を構築

2023年度

- 2023年度まで年2回の侵入を受けた
- 都度、即時駆除に成功

2024年度

- 各務原市側の橋台付近にバイト剤を設置開始
- 再侵入は11月の1回のみ

2025年度

- 犬山市が侵入監視モニタリングを実施
- 県が技術的支援を実施

防除活動のための体制づくり



定着阻止成功のポイント

- 👍 各担当者の外来種対策への認識が高かった
- 👍 専門人材を確保・育成できた
- 👍 早期防除を次の繁殖シーズン前に実施できた



今後も定着を阻止すべく、監視体制を持続するため、マニュアルを作成中